

——人々が集う「開かれた図書館」

緩やかな傾斜のメインアプローチは人に優しいユニバーサルデザイン。屋外にはベンチや芝生は憩いの場にも。

図書館内はグループ学修エリアなどの「動」のエリアと書架や研究室などの「静」のエリアがあり、

学修を深めたい学生や地域の人々が集う図書館です。

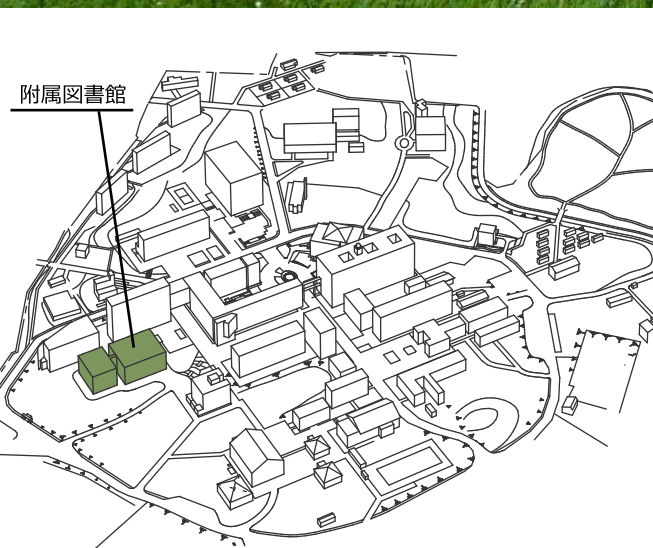


メインアプローチ

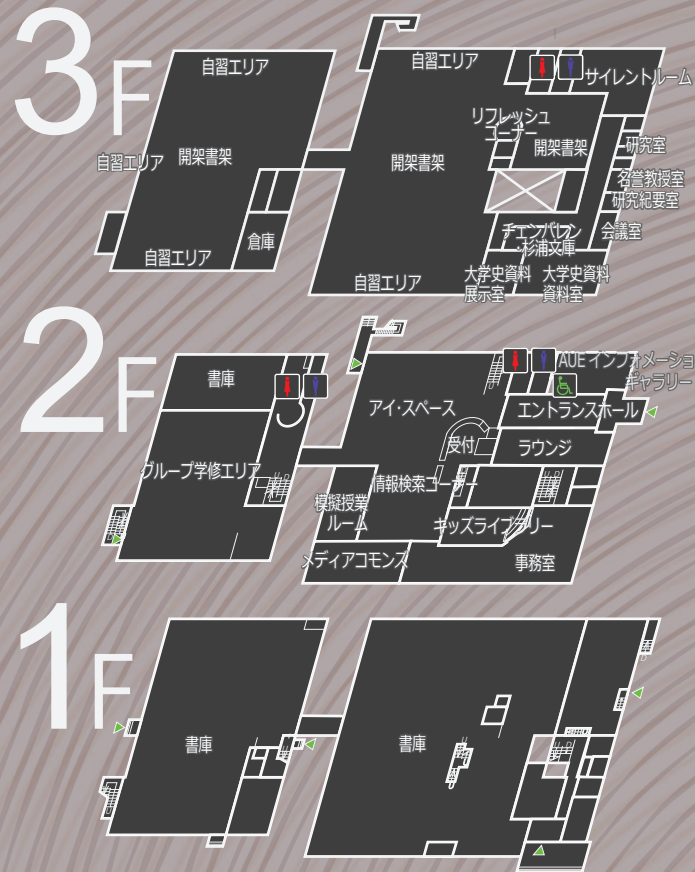


夜景

愛知教育大学附属図書館 Aichi Education Library

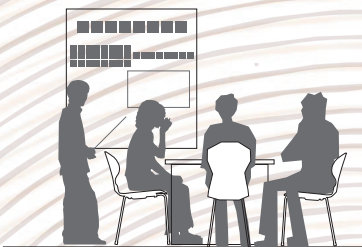


屋外ベンチ



グループ学修エリア

書架を3階に集約させることで、2階を大規模なアクティブラーニングスペースとした。



キッズライブラリー

室内の一部を段差フロアにすることで、座り読みや読み聞かせに活用できる設えとした。



パウダールーム

本学は女子学生が多い為、福利厚生観点よりパウダールームを設置した。円形空間とし、新しいトイレのあり方を試みた。



模擬授業ルーム

模擬授業ルームを設ける事により、実践的な教育空間を実現した。

「動」と「静」

2階「動」のエリア

グループ学修エリア、模擬授業ルーム、ICT教室などアクティブラーニングを促進する空間とした。

3階「静」のエリア

サイレントエリア、書架、研究室を設けることで、静かな環境で学修や研究をより専念する空間とした。

リフレッシュスペース

学生の意見を取り入れ、3階「静」のエリアに遮音性に配慮したリフレッシュスペースを設置した。



Data

改修面積 : 3,853.14 m²
 構造 : 鉄筋コンクリート造 (3F)
 設計期間 : H28年7月～H28年11月
 工事期間 : H29年2月～H29年8月
 基本設計 : 愛知教育大学施設課
 実施設計 : 株式会社東畑建築事務所
 工事監理 : 愛知教育大学施設課
 施工 : 株式会社近藤組
 株式会社ホクエー電工
 株式会社中京技研

Concept

緑豊かな教育の森に佇む図書館をイメージし、暖かみのあるデザインコンセプトとしている。特にエントランスは木調で統一し、在学生、地域の方々、本学を志す高校生を優しく受け入れる工夫を取り入れている。

